



【FOLFIRI+ERB療法について】 (5-FU+レボホリナート+イリノテカン+アービタックス)



ID: _____

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目
アロカリス注 パロノセトロン注	吐き気止め	30分																													
デキサート注 ボラミン注	アレルギー予防																														
アービタックス注	分子標的薬	初回2時間 2回目以降1時間																													
イリノテカン注	抗がん剤	1時間30分		同時に点滴開始														同時に点滴開始													
レボホリナート注	5-FUの効果を 強める薬	2時間		同時に点滴開始														同時に点滴開始													
5-FU注	抗がん剤	15分																													
5-FU注(持続)	抗がん剤	46時間																													



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目
自覚症状	アレルギー様症状																													
		発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
	食欲不振・吐き気																													
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	口内炎																													
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																												
	下痢																													
	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																													
色素沈着																														
	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																													
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																														
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																													
皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)																														
	にきびのような発疹がでたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。爪の周りに腫れや痛みが出ることがあります。																													
検査値	白血球減少																													
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																													
	貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																													
血小板減少																														
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																													



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部